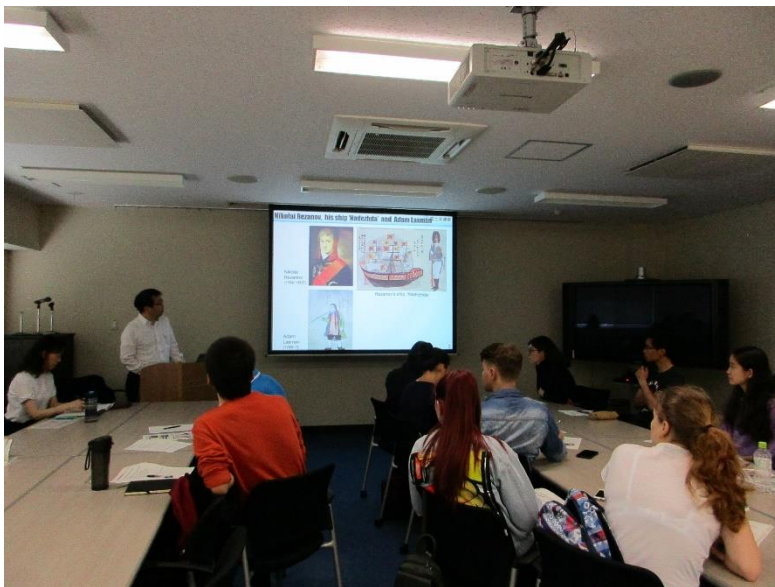


北海道大学 日露共同教育プログラム「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム」において講義を行いました。

令和元年 8 月 2 0 日に北海道大学の日露共同教育プログラム「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム」（通称：RJE3 プログラム）に参加している日本人及びロシア人学生 1 6 名に対して、宮本国際室長が「北海道における開発政策」について講義を行いました。

このプログラムは、北海道大学が極東ロシアの基幹 4 大学（北東連邦大学、イルクーツク国立大学、サハリン国立大学、太平洋国立大学）とともに、極東・北東圏、特にロシアにおける課題解決方法を分野横断的に学び、持続可能な環境・文化・開発を牽引する高度職業人として活躍する専門家を育成するための国際連携教育システムの構築を目指して実施しているものです。

【講義の様子】



北海道における開発政策についての講義

北海道開発局による講義は平成 2 7 年度から連続して 5 回目となり、今年は開発計画課国際室長から北海道の歴史や、北海道総合開発計画、これまでの北海道開発の成果などを説明しました。

学生達は通訳を介しながら、それぞれ重要なところはメモをとるなどとても熱心に講義に集中していました。

講義終了後は、学生達から北海道におけるアイヌ文化の歴史や、日本の省庁の仕組み、日本の人口減少に対する質問などが寄せられるとともに、ロシアで現在起きている社会問題の紹介などもあり、活発な意見交換会が行われました。